

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

多治見市議会 議長 20 様

令和 8 年 8 月 20 日

会派名 オールたじみ
6 番議員 氏名 成田 康弘

質問題名	市道沿線の樹木管理による安全確保について
質問要旨	近年、全国各地で地震や台風、集中豪雨などの自然災害が相次ぎ、これまでの想定を超えるような被害が発生している。特に、短時間に猛烈な雨が降る記録的豪雨や強風などにより、道路の冠水や土砂災害、倒木など、市民生活や道路交通に大きな影響を及ぼす事例も少なくない。 こうした自然災害に対して、災害発生後の迅速な対応はもちろんのこと、被害を未然に防ぎ、あるいは最小限に抑える「予防」の視点が、これまで以上に求められている。市道のすぐ脇まで山林等が迫り、道路を覆うように枝が伸びている箇所や、道路側へ傾いた樹木、枯木などが市内各所で見受けられる。平常時には問題がないように見えても、大雨や強風などをきっかけとして、落枝や倒木が発生し、道路を塞ぐだけでなく、通行する車両や歩行者等を巻き込む事故につながる危険性がある。 本市においても、これまでに倒木や枯木等に起因する車両等への損害賠償事案が発生している。一方で、最近では市道沿線における樹木の伐採や防草対策等が進められている箇所も見受けられる。事故が発生してから倒木を撤去し、損害に対応する「事後対応」ととどまらず、危険性のある樹木や箇所を事前に把握し、優先順位を定め、計画的な伐採・剪定等を進める「予防的な道路管理」が重要であると考えます。 そこで、市道沿線における樹木管理の現状と、道路利用者の安全確保に向けた今後の取組について伺う。
質問項目①	市道沿線における、道路への張り出し、枯木、傾斜木など、倒木・落枝のおそれがある樹木について、どのように現状を把握し、点検しているのか。
質問項目②	令和 7 年には、笠原町、美山町、富士見町など 5 件の倒木等による事故や損害賠償事案が発生している。これら事案の状況を伺う。また、どのように捉えているか。
質問項目③	市道沿線における樹木の伐採・剪定、防草対策等について、現在の実施状況や基準、優先順位を伺う。また、今後どのように取り組んでいく考えか。
質問項目④	事故発生後の対応にとどまらず、市道沿線の危険木や危険箇所を事前に把握し、危険度に応じて計画的な伐採・剪定等を進める「予防的な道路管理」が必要と考えるが、本市の見解と今後の取組について伺う。
質問項目⑤	
質問の相手方	市長、建設水道部長